

令和4年度シラバス（教科：家庭）

学番56 新潟県立八海高等学校

教科（科目）	子どもの発達と保育	単位数	2単位	学年（コース）	3年 普通科（スポーツ・ビジネス・普通）
使用教科書	実教出版「子どもの発達と保育」				
副教材等					

1 学習目標

乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの健全な成長を図る能力と態度を育てる。

2 指導の重点

①乳幼児が人間の発達の基礎であることを踏まえ、乳幼児期の発達の特徴や生活についての基本的知識を身に付けさせる。
②保育の専門的資質とコミュニケーション技術及び表現技術の向上を目指す。状況に応じて、全国高等学校家庭科保育検定を受検する。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
1 学期	1 子どもの発達の特徴 2 子どもの発達の過程	教科書 授業プリント	◆人間発達のなかの乳幼児期、発達観・児童観の変遷 ◆乳幼児期発達の特徴 ◆乳幼児期の発達の特徴、精神発達 ◆対人関係の発達、心の健康と精神保健	15	定期考査 提出物 授業態度 課題への取り組み
			◆保育検定（造形表現技術）の練習・受検	10	
2 学期	3 子どもの生活 4 子どもの保育	教科書 授業プリント	◆子どもの養護、食生活と衣生活、遊び ◆生活環境としつけ、子どもの健康管理、事故と安全、生活と環境 ◆保育の意義、目標と保育者のかかわり、家庭保育と集団保育	15	定期考査 提出物 授業態度 課題への取り組み
			◆保育技術検定（言語表現技術）の練習・受検	10	
3 学期	5 子どもの福祉	教科書 授業プリント	◆子どもの福祉とは ◆子どもの福祉と法律、制度とは	14	定期考査 提出物 授業態度 課題への取り組み

計 64時間（55分授業）

4 課題・提出物

保育検定を参考にした課題、作品作りなど

5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
子どもの発達と保育、子どもの福祉など、子どもの健全な発達と環境とのかかわりに関心を持ち、子どもと適切に関わりを持つようとしている。	子どもの心身の発達や生活と遊び、親の役割と子どもの人間形成について、現代の家庭や地域の生活を見つめ課題を見つけ、その解決を目指して思考を深めている。	実践的・体験的な学習活動を通して調査・観察・研究し、子どもと適切にかかわることができ、子どもの健全な発達を支援するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	子どもの発達と保育、子どもの福祉などについて理解し、子どもの健全な発達と支える親や社会の果たす役割について認識するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。

以上の観点を踏まえ、
○定期考査 ○授業・実習への取り組み ○提出物 ○出欠
などを総合的に評価します。

6 担当者から一言

保育を楽しみだけのもんと思っはいけな。子育ては責任も重く、そして困難や取組まなければならなことがたぐさんあるもの。それを越えたときに喜びや楽しさがある。
実際、将来子育てに関わるものとして、しっかりと知識技術を学んでほしい。